

平成23年度 音楽部の取組

1 研究主題

音楽に親しみ、豊かに表現するための指導の工夫

2 研究の概要

(1) 第1回 音楽作りと歌唱指導についての講習会(期日6月1日(水) 会場 燕西小学校)

講師 作曲家 長谷部 匡俊 様

<講習会の概要>

音楽作りを中心に、実技を交えながら、具体的にご指導いただいた。リズム遊びなどで拍の流れを共有することの大切さ、拍とリズム(=拍節感)や音の高さ(=音高感)を意識させる指導の大切さ、音楽室の壁には「ドレミのビルディング」を掲示することの大切さなどを教えていただいた。また、実際に各パートに分かれ、2小節のリズム譜を手拍子し、リズムアンサンブルを体験することで、拍を感じる楽しさを味わうことができた。

(2) 第2回 授業研究会(期日 12月2日(金) 会場 粟生津小学校 音楽室)

授業者 齋藤 康子 教諭(粟生津小学校)

題材名 1年「いろいろな おとに したしもう」

指導者 井出 治美 先生(三条市立大面小学校 教頭)

<授業の概要>

「歌詞やお話からイメージを膨らませて、音遊びをしたり音色を工夫しながら演奏したりすることができる。」のねらいのもと、トライアングル・鈴・鉄琴を使って、『きらきらぼし』のお話に合うような音をグループで話し合いながら作り、発表していた。

<協議会の概要>

○ プロジェクターを用いて映像を見せていたが、ワークシートに写真を入れるなどして、もっと子どもたち一人一人のイメージを膨らませてもよかった。

○ ワークシートを用いていたが、記述欄が多くあり、1年生には難しいように感じた。

<指導の概要>

○ 「きらきら」という音をもっと追求させ、鈴だったら、トライアングルだったらどんな音になるかを考えさせる。教師が楽器や音を愛するように、見本を聴かせることも大切にしたい。良い音を聴く経験を通し、子どもたちは楽器を大事に扱うようになる。

○ 「音楽が楽しい」という子どもたちに育て、「聴く」「集中する」「合わせる」を身に付けさせたい。

